

## 近畿宝くじ『WMG2021関西協賛くじ』発売！

大会の周知と機運醸成のため、昨年に引き続き『ワールドマスターズゲームズ2021関西協賛くじ』を発売します。宝くじの収益金は、大会の開催支援に活用されますので、奮ってご購入ください。

- 発売期間：平成30年11月7日(水)～11月25日(日)
- 発売カ所：近畿2府4県の区域
- 当せん金：1等2,000万円、前後賞500万円、特別賞「スフラ賞」1万円(1,500本)など
- 発売単価：200円/枚



券面デザイン

## 会場約100カ所に延べ6万人のボランティアを募集予定！

8月24日(金)のワールドマスターズゲームズ2021関西 開催1000日前記念イベント「大会1000日前決起大会」にて、本大会におけるボランティアの募集について発表しました。

各競技開催地や開閉会式、サテライトビレッジなど、約100カ所を数える会場で、延べ6万人のボランティアを募集します。ボランティアの募集・運営にあたっては、ラグビーワールドカップ2019組織委員会および東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会に加え、全国外大連合や笹川スポーツ財団などとも連携し、語学ボランティアをはじめとした各種ボランティアを配置して海外・国内参加者の受け入れ体制を整備します。

なお、ボランティア募集の詳細は、2019年11月頃に発表予定の募集要項にて正式にお知らせする予定です。



オークランド大会でのボランティアの様子



### 組織委員会の予定（主なもの）

- ・11月2日(金)～11日(日) パンパシフィックマスターズゲームズ2018 (オーストラリア・ゴールドコースト)
- ・11月11日(日) TSUNAGU in わかやま
- ・11月27日(火) 首都圏シンポジウム
- ・12月3日(月) IMGA理事会

### ワールドマスターズゲームズとは

ワールドマスターズゲームズは、国際マスターズゲームズ協会(IMGA)が主宰し、4年ごとに開催される、概ね30歳以上のスポーツ愛好者であれば誰でも参加できる生涯スポーツの国際総合競技大会です。オリンピック・パラリンピックの翌年に開催され、1985年にトロントで第1回大会が行われました。2021年の関西大会は第10回大会、アジア初の開催となります。

公益財団法人 ワールドマスターズゲームズ2021関西 組織委員会事務局

〒530-6691 大阪市北区中之島6-2-27 中之島センタービル23F

TEL: 06-6446-2021 FAX: 06-6445-8541 MAIL: kansai-wmg@wmg2021.jp

HP: <http://wmg2021.jp/> <https://www.facebook.com/wmg2021>



大会マスコットスフラ  
～Sport for Life～

## 「みんなのスポーツ1000言」開始！

8月18日(土)、関西国際空港第1ターミナル国際線到着ロビーにて、「みんなのスポーツ1000言」デジタル残日計の設置・除幕式を行いました。

設置・除幕式には、組織委員会の井戸敏三会長(関西広域連合長/兵庫県知事)、松本正義会長(関西経済連合会会長)、大会応援大使の武井壮さんが出席し、デジタル残日計ならびに、自らのスポーツに関する「1000言(宣言)」を披露しました。また、在阪テレビ5局のアナウンサーが大会を共に応援いただく「大会“アナ”バサダー(アナウンサーアンバサダー)」に就任し、それぞれから意気込みを語っていただきました。残日計は、関係者や一般の皆様から募集した「スポーツに関する宣言」をモニターに表示し、大会までのカウントダウンを行うものです。今後も各所でのPRブースや「みんなのスポーツ1000言キャンペーンサイト」(<https://1000.team-dosports.com/>)などから募集してまいります。

海外から2万人の参加をめざし、訪日観光客の関西への玄関口である関西国際空港に残日計を設置し大会をPRしてまいります。残日計は関西国際空港をはじめワールドマスターズゲームズ開催府県政令市13カ所に設置するほか、様々な場所で配信し、地域における認知度向上、機運醸成を図ってまいります。



### 笹川スポーツ財団及び

### 日本スポーツボランティアネットワークとの連携協定締結

大会開催まで1000日前となる8月18日(土) 関西国際空港にて、(公財)笹川スポーツ財団及び(特非)日本スポーツボランティアネットワークと協定を締結しました。

両団体は、スポーツボランティアに関して豊富な知見、実務経験やネットワークを有していることから、スポーツボランティアの育成や情報共有など、大会運営に必要な連携・協力体制を構築するものです。

渡邊一利笹川スポーツ財団理事長・日本スポーツボランティアネットワーク理事長は「ボランティアの育成を通じて、大会の成功とその後のボランティアレガシーの創出に貢献できるよう協力していきたい。」と意気込みを語られました。木下博夫組織委員会事務総長は、「両団体と連携することは組織委員会にとって非常に大きな力になる。大会成功に向けて邁進していきたい。」と抱負を述べました。



## 各実行委員会でもデジタル残日計を設置！



## 大会1000日前 決起大会を開催

8月24日（金）、大阪市内にて、「大会1000日前決起大会」を開催しました。井戸敏三会長、松本正義会長、武井壮さんなど約500名が出席し、福井県が新たに「ライフセービング」の競技会場として選ばれたことや、競技別実施概要の最新情報、各競技会場（約100カ所）、延べ6万人のボランティアの募集計画などを発表しました。

また、大会を共に応援いただくアンバサダーに、23人のアスリートが就任。決起大会に出席いただいた野村忠宏さん（柔道家）、大山加奈さん（元全日本女子バレーボール代表）、斉藤和巳さん（野球解説者）、荻原次晴さん（スポーツキャスター）から抱負をいただきました。



## JICA関西との覚書締結

8月24日（金）、ヒルトン大阪で開催した「大会1000日前決起大会」にて、（独法）国際協力機構関西センター（JICA関西）と覚書を締結しました。

今後、相互に連携・協力し、大会の成功と、大会を通じた国際貢献及び国際協力事業の質的・量的向上、並びに関西におけるSDGs※と国際協力の推進をめざします。

西野恭子国際協力機構関西センター所長は、「関西地域の様々な分野の方々と連携して、大会の成功とSDGsの達成に貢献したい。」と意気込みを語られました。木下博夫組織委員会事務総長からは、「JICA関西が有するネットワークを活用して大会を国内外へ大きく発信していきたい。留学生等による競技チームの参加も期待したい。」と抱負を述べました。

※SDGs:持続可能な開発目標



## アジアパシフィックマスターズゲームズ2018

9月7日（金）～9月15日（土）の間、マレーシアのペナン島において「アジアパシフィックマスターズゲームズ（APMG）2018ペナン大会」が開催されました。IMGAが主宰するマスターズ大会はオリンピックの翌年に開催される世界大会「ワールドマスターズゲームズ」のほか、北米で開催される「アメリカズマスターズゲームズ」、ヨーロッパで開催される「ヨーロッパアンマスターズゲームズ」などの地域大会がそれぞれ4年ごとに開催されており、この2018ペナン大会はアジアで初めて開催される地域大会「アジアパシフィックマスターズゲームズ」となります。（この他、スキーなどの冬の競技の大会も開催されています。）



ペナン大会には、世界60か国から約5,300名が陸上競技、バドミントン、自転車、サッカー、水泳など22の競技に参加しました。うち国外からの参加者は約2,000名で、インドから358人が参加したほかは、オーストラリア295人、日本233人、中国160人、モンゴル134人、シンガポール113人とアジア地域からの参加者が多く見られました。（人数は速報値、登録ベース）



ワールドマスターズゲームズ2021関西大会は、参加者5万人、うち2万人の海外参加者を見込む国際総合競技大会です。今回のペナン大会において、我々組織委員会は大会受付会場や開会式場にブースを設置し、参加者に対して関西大会のPRを行いました。また、関西大会PRサポーターとして、競技会場等でPR用のTシャツを着用いただいたり、チラシやピンバッジなどのノベルティを配布いただいたりしながら競技者に直接関西大会への参加を呼び掛けていただきました。

このように、みなさんのお力を借りながら、より多くの方々に参加いただける国際大会となるように国内外でのPRにより一層努めてまいります。

